



NEWS RELEASE

2017年6月26日

アースドリル『SDX207』マイナーチェンジ機発売に関して

日立住友重機械建機クレーン(株) (社長: 横山 省吾) は、好評を頂いているアースドリル機『SDX207』を一部改良し、デザインとカラーリングも新たに販売を開始します。

補助つり性能を最大 7t に向上し、キャブ内には視認性・操作性にすぐれた新型の大型モニタを採用することで、一層使いやすい機械に進化させました。

<主な特徴>

1. パワフルな作業性

最大トルク 63.7kN・m のパワフルな掘削トルクと、最大掘削深度 41.5m まで対応する 13m ケリーバ(オプション 14.1m ケリーバ時、45.8m)の使用により、効率よく掘削作業を行えます。また、補助つり作業を担うフロントウインチの最大定格荷重は 7t へと性能を向上させ、効率的な作業をサポートします。

2. 操作性の向上

8 インチの新型ディスプレイを採用した大型モニタを搭載したほか、従来別々に配置されていた掘削作業用の深度計・傾斜計やケリーロープ交換の目安として使える掘削長積算機能、パイロット圧力計を同画面に集約したことで、作業時の視界が広がり、操作性が向上しました。

また、拡底管理装置(オプション)もタッチパネル式へと一新しました。

長時間作業の疲労を軽減する新型の運転シートを採用し、すぐれた居住空間と使いやすさを両立しています。

3. すぐれた輸送・組立性

後端半径 2.9m のコンパクトな車体は、都市部の狭隘地での作業にも威力を発揮します。また、本体はアースドリルアタッチメント付で、輸送質量 30t 以下、輸送幅 2800mm を実現し、輸送時から作業姿勢への組み換えが容易に行えます。

さらに、標準の 1 枚タイプに加え、新たに設定された補助クレーンの小型化(3t つり未満)が図れる 4 分割型カウンタウエイト(オプション)や、クローラ伸縮が素早く行える独自のクローラ伸縮装置は、安全かつスムーズな組立作業に貢献しています。

<主要仕様>

SDX207		アースドリル
ブーム形式		2 段箱型伸縮ブーム
ブーム長さ		17/14.5/12/9.4 m(3 段ロック)
ケリーバ長さ (標準)		13.0m × 4 段
最大掘削径	軸掘仕様	1,800mm (一般土質)/2,000mm (軟土質)
	拡底仕様	1,400mm ~ 2,400mm
最大掘削深度	軸掘仕様: 13m ケリーバ (標準) 時	41.5m (バケット接続ピン位置)
	14.1m ケリーバ (OPT) 時	45.8m (バケット接続ピン位置)
	拡底仕様: 13m ケリーバ (標準) 時	39.7m (バケット接続ピン位置)
掘削トルク		63.7 kN・m <6.5 tf・m>
最大補助つり能力		7.0t
掘削回転数		0~20 min ⁻¹
スラストストローク		560mm
エンジン名称		いすゞ6HK1T ディーゼルエンジン
定格出力		136kW/2000min ⁻¹ <184PS/2000rpm>
全装備質量*1		約 42.0t (軸掘仕様時)
販売価格 (軸掘標準仕様/税別)		66,000 千円
年間販売台数		6 台

*1. 軸掘仕様時、アースドリルアタッチメント付、バケット除く



**SDX
207**

※本文並びに写真はオプション装備品を含みます。

注) ニュースリリース記載の内容は、発表日現在の情報であり、その後予告なしに変更される場合もありますので、ご了承ください。

日立住友重機械建機クレーン株式会社

東京都台東区東上野6-9-3 Tel:03-3845-1396 Fax:03-3845-1394

www.hsc-crane.com